鳥取県地域医療支援センター 広報誌

DOCトリ!

鳥取の地域医療を考えるマガジン ードクトリ！ー

vol.01
2018 / Summer

鳥取県地域医療
支援センター広報誌
創刊号

創刊記念特集

- 特集1 ／センター長 スペシャルインタビュー
- 特集2 ／地域医療支援センターとは

その他、気になる医療の話が盛りだくさん！

- 鳥取県の医療状況
- 新専門医研修制度をご紹介

DOCトリ!
第1号 2018年8月発行 鳥取県地域医療支援センター

※本誌掲載の写真、図版、記事などの無断転載を禁じます。

鳥取県地域医療支援センターからのお知らせ

NEWS 1 専攻医登録は10月中旬から開始予定

7月20日の日本専門医機構の理事会にて新任の理事長・副理事長が決定し、体制が整いました。

8月3日の理事会後に記者会見が行われ、2019年度研修開始の専攻医募集の受付開始時期について、10月半ばを努力目標として定める方針が説明されました。

基幹施設の一つである鳥取大学医学部附属病院の「平成31年度領域別専門研修プログラム冊子」が7月に発行されました。

冊子を希望される方は
下記へお問い合わせください。

卒後臨床研修センター
専門教育研修部門

TEL 0859-38-7005
FAX 0859-38-7006
MAIL senmoni@ml.med.tottori-u.ac.jp

NEWS 2 2020年度から初期臨床研修制度が変わります

今まで選択必修だった科目が必修に追加されます。ほかにもいろいろ改正点があります。該当年に当たる方は要チェック！

現在	2020年度以降
3科目必修 + 5科目から2科目選択必修 + 選択科目	7科目必修 + 選択科目
	一般外来で4週以上の研修含む
内科／6カ月	内科／24週
救急／3カ月	救急／12週（4週まで麻酔科可）
外科 麻酔科 小児科 産婦人科 精神科 2科目選択	外科／4週
	小児科／4週
	産婦人科／4週
	精神科／4週
地域医療／1カ月	地域医療／4週
選択科目／12カ月程度	選択科目／48週

鳥取県地域医療支援センターについて

鳥取県地域医療支援センターは、鳥取県・鳥取大学医学部附属病院が連携し、鳥取県の地域医療の充実・発展のために2013（平成25）年1月に設置されました。私たちは、鳥取県の医師不足解消のために、地域枠などの医師のキャリア形成支援や医師の地域偏在解消に取り組んでいます。専任医師も勤務しており、皆さまのご相談などを伺っています。

ご相談やお問い合わせはこちらまで

鳥取県の医療・奨学金制度に関すること
鳥取県福祉保健部 健康医療局 医療政策課
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220
TEL 0857-26-7195 FAX 0857-21-3048

医師のキャリア形成・相談に関すること
鳥取大学医学部附属病院 鳥取県地域医療支援センター
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
TEL 0859-38-7005 FAX 0859-38-7006

とっとりドクター Naviの配信を始めました

鳥取県の地域医療に関心をお持ちの全国の高校生・医学生・研修医の皆さまに向けて県内の医療情報や勤務に関する情報、医師としてのスキルアップに役立つ情報をメールでお届けします。どなたでもご登録いただけます。

とっとりドクター Navi
登録申込フォーム ▸▸▸
https://www.pref.tottori.lg.jp/273080.htm

★ご登録いただいた方には、『DOCトリ!』を毎号お届けします！

広報誌名『DOCトリ！』の由来

「DOCTOR」と「鳥取県」を合わせた造語です。医師の皆さんに、鳥取県で活躍してほしいという願いが込められています。

編集発行 鳥取県地域医療支援センター
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1（鳥取大学医学部附属病院内） TEL 0859-38-7005 FAX 0859-38-7006
Eメール t-chiikicen@med.tottori-u.ac.jp ホームページ http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikicen/

□ 制作／有限会社キーワード 〒680-0051 鳥取市若桜町39 ロゴス文化会館1F TEL 0857-29-4018

創刊記念特集 1

鳥取県地域医療支援センター長 スペシャルインタビュー

医師として、人として、自分らしく生きる

鳥取県地域医療支援センターは、将来鳥取県の医療に携わりたいという医学生や若手医師の皆さまへ向けて奨学金やキャリア形成、県内勤務などに関する情報提供を行うため、広報誌『DOCトリ!』を創刊しました。記念すべき第1号の特集として、センター長のスペシャルインタビュー、センターの概要をご紹介します。

自らも鳥取県で医学を学び、現在に至るまで最前線に立って地域医療と向き合っている原田省センター長。その経験を踏まえながら、センターの取り組みやこの地で医師として生きる魅力、意義についてお話を伺いました。

鳥取県地域医療支援センター長
はらだ　たすく
原田　省 先生

1958年　兵庫県生まれ
1983年　鳥取大学医学部医学科 卒業
1985年　英国リーズ大学 留学
1992年　大阪大学医学部内科学第三講座 留学
1993年　鳥取大学医学部附属病院産科婦人科 講師
2007年　鳥取大学医学部生殖機能医学分野 准教授
2008年　鳥取大学医学部生殖機能医学分野 教授
2011年　鳥取大学医学部附属病院 病院長特別補佐
　　低侵襲外科センター センター長
2012年　鳥取大学医学部附属病院 副病院長
2017年　鳥取大学医学部附属病院 病院長
現在、日本産婦人科学会、世界子宮内膜症学会など多数の要職も務める。

【専　門】生殖内分泌／内視鏡手術
【資格等】産婦人科専門医・指導医
　　生殖医療専門医
　　産婦人科内視鏡技術認定医
　　内分泌代謝科専門医

秀峰大山からの眺めは絶景

大山が好きで、休みの日は大山の雄大な自然の中でゴルフをしてリフレッシュしています。
また、「伯耆富士」と言われるほど美しい山であり、大山から眺めることができる弓ヶ浜や日本海の景色が気に入っています。

わたしの鳥取 LIFE!

▲「県内に勤務し奨学金返還免除となった医師は19名。まだまだ少ない」と原田センター長

地域医療を担う医師の増加・定着を目指して

――まずはセンターが設置された経緯を教えてください。

日本では、2025年に団塊の世代が後期高齢者になることから、今後次第に慢性疾患、複数の疾患を抱えた高齢者が増加していくと予想されています。また鳥取県は現在、65歳以上の高齢者割合が3割を超えていますし、2040年には4割近くになるという推計があります。そういった中、地域医療の在り方は大きな変革を求められています。国や地方自治体は「地域医療構想」を掲げ、新たな地域医療体制の実現を目指しており、その取り組みの一つとして2013（平成25）年1月に当センターが起ち上げられました。

――主な業務内容は？

県内の医師不足状況等の把握・分析、医師不足病院の支援、医師のキャリア形成支援、情報発信と相談対応、地域医療関係者との協力関係の構築などです。鳥取県庁と鳥取大学医学部附属病院に事務局を置き、相互に連携しながら業務を行っています。2015（平成27）年4月には専任医師として福本宗嗣特命教授が着任し、高校生や医学生、若手医師らに対してより一層具体的なアドバイスを行える体制が整いました。

キャリア形成は都会が有利？

――鳥取県では医師が不足しているのですか？

毎年1回県内病院の医師不足調査を実施していますが、全国平均より低く、決して十分とはいえません。東・中・西部に分けて見ると、医師数はもちろん診療科・専門医の分布にも偏りがあり、地域のニーズに合った医師の確保と専門医配置の必要性をひしひしと感じています。実際に、中山間地の自治体病院や公立診療所から医師派遣要請が出されており、今年度は自治医科大学と鳥取大学卒業の医師14名が派遣されています。

――医師にとって、鳥取県のような地方で働くことはデメリットが多いのでしょうか？

キャリアアップのためには都市部の大きな病院のほうがいいと考えがちですが、鳥取県内でも充実した臨床研修を受けることができます。むしろ自分が学んできた地域のほうが融通が利き、やりたい勉強が存分にできる。もちろん本人が望めば専門的な病院、海外の病院へ研修に行くことも可能なので、格差は感じません。それに現代は情報化社会。治療に関する最新の情報等はインターネットで見ることができるので、地方だから遅れているということはないですね。働きやすさ、暮らしやすさを考えればメリットのほうが多いのではないでしょうか。

センターを活用し、この地で輝ける未来を

――キャリア形成支援の一つとして、医学生への奨学金制度を行っておられますね。

将来鳥取県の地域医療に貢献したい意思を持つ学生に対し「鳥取県医師確保奨学金制度」が設けられており、当センターで制度の紹介やアドバイスなどを行っています。奨学金は全部で4種類。資格要件、募集人員、貸付額などはそれぞれ異なりますが、いずれも無利子で、定められた要件を満たせば返還が免除されます。保護者の金銭的な負担が軽減され、自分の力で医師になることができる非常にいい制度ですので、ぜひ活用していただきたいですね。

――では最後に、医師を目指す高校生や医学生、若手医師に向けてメッセージを。

高校生、医学生のときから将来のキャリアイメージを描いておくことが大事です。どのようにキャリアを積んでいくべきか、鳥取の地で医師として働く魅力とは何なのか、この広報誌『DOCトリ!』を通じて皆さんへ情報発信していきますし、何かあればセンターにお気軽にご相談ください。

女性診療科における▶ウインタースクールの様子。多くの参加者が生き生きした表情で、産婦人科の楽しさを体験した。

「医師の勉強も活躍も、鳥取県なら思いっきりできます」

鳥取県での医師キャリアを応援する 地域医療支援センターとは

鳥取県地域医療支援センターは、鳥取県と鳥取大学医学部附属病院が連携し、鳥取県の地域医療のために2013（平成25）年1月に設置されました。

私たちは、鳥取県の医師不足解消のために、地域枠などの医師のキャリア形成支援や医師の地域偏在解消に取り組んでいます。専任医師が勤務しており、医師を目指す高校生や医学生、若手医師の皆さまのご相談などを伺っています。

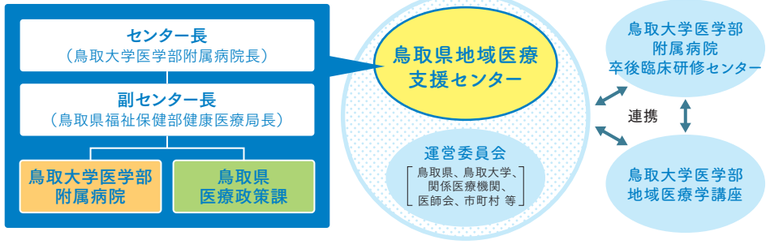
鳥取県の医療に携わりたい 医学生へのサポートを行っています

キャリア形成などの相談にのります！

鳥取県地域医療支援センター
専任医師(特命教授)
福本（ふくもと） 宗嗣（そうじ） 先生

鳥取県地域医療支援センターの体制・業務内容

■体　制



■業務内容

	鳥取大学医学部附属病院	鳥取県医療政策課
医師不足状況等の把握・分析	●医師不足調査の実施 ●個別医療機関へのヒアリング 等	
医師不足病院の支援	●奨学金貸与者の県内勤務への支援	●医師登録・派遣システムの活用 ●無料職業紹介事業の実施 ●医師不足病院への代診等の支援
医師のキャリア形成支援	●研修プログラム作成支援 ●奨学生等の研修履歴、勤務状況および専門医取得状況の把握	●奨学生等のセンターへの登録 ●県外専門研修、地域医療体験研修、海外留学等の機会の提供
	●奨学生等への面談、アドバイス　●キャリア形成モデルの提示	
情報発信と相談への対応	●ホームページ、広報誌等による情報発信　●とっとりドクターNavi ●県内外の医師、医学生、高校生などからの相談への対応 等	
地域医療関係者との協力関係の構築	●地域医療支援センター運営委員会の開催 ●地域医療対策協議会等への参加　●臨床研修指定病院協議会との連携 等	

無利子・返還免除も！ 充実の奨学金貸与制度

※規定期間、県内の病院に勤務すると返還免除になります。

医師養成確保奨学金（地域枠）　月額 12万円

募集人数		5人以内（新入生のみ）
対象	卒業高校	鳥取県内高校を卒業
	入学大学	鳥取大学医学部医学科推薦入試Ⅱ（地域枠）［1浪まで］
申請時期		鳥取大学入学後

緊急医師確保対策奨学金（特別養成枠）　月額 15万円

募集人数		5人以内（新入生のみ）
対象	卒業高校	鳥取県内外問わず （鳥取県外の高校卒業者は、本人・保護者等の出生・本籍・現住所が鳥取県内である等、鳥取県に縁のある者）
	入学大学	鳥取大学医学部医学科推薦入試Ⅱ（特別養成枠）［2浪まで］
申請時期		大学入学前年の10月頃

医師養成確保奨学金（一般貸付枠）　月額 10万円

募集人数	10人以内（1～6年生）
対象	大学医学部医学科在学生 （出身地、卒業高校、入学大学を問わない）
申請時期	各学年4月～5月の貸付案内時

臨時特例医師確保対策奨学金（臨時養成枠）　月額 15万円

募集人数		●鳥取大学：14人以内　●岡山大学：1人以内 ●山口大学：1人以内（いずれも新入生のみ）
対象	卒業高校	鳥取大学、岡山大学は不問 山口大学は、鳥取県内の高校卒業者に限る
	入学大学	●鳥取大学医学部医学科一般入試（前期日程） 地域枠（鳥取県）［2浪まで］ ●岡山大学医学部医学科推薦入試Ⅱ （地域枠コース（鳥取県））［2浪まで］ ●山口大学医学部医学科推薦入試Ⅱ （地域医療再生枠（鳥取県枠））［2浪まで］
申請時期		各大学入学後

各詳細情報はこちらからアクセス！

医師の求人情報　鳥取県のサポート詳細　地域医療支援センター　奨学金制度

◂◂◂ ご相談連絡先は本誌裏面をごらんください。

留学、職場復帰も支援します

鳥取県医師海外留学資金	国内では習得が難しい診療の知識・技術を海外で習得したい医師へ留学資金を貸し付ける。
専門研修医師支援事業	鳥取県職員として、県外の医療機関で専門的研修を行う。
地域医療ローテートコース	地域医療に携わりながらキャリア形成を図る。
子育て離職医師等復帰支援コース	子育て離職からの現場復帰研修を県立病院、鳥大病院などで行う。

まるっと解説！ 鳥取県の 医療状況

鳥取県の医療の現状や特徴について、 5つのカテゴリーに分けてご説明します！

病院数はどれくらい？

県全体で44の病院と509の診療所

人口10万人当たりの病院・診療所数は他県より多く、市部はもちろん郡部においても他都道府県の市部や郡部よりも医療施設が充実しています。様々な施設があり、希望する勤務地やシステムの病院を選びやすくなっています。

各病院・診療所が連携を取り継続的な治療ができるよう「おしどりネット（鳥取県地域医療連携ネットワーク）」を活用し、病院間で電子カルテを共有することでより良い医療が提供できています。

		東部	中部	西部	合計▼
人口（人）		227,716	101,392	232,260	561,368
病院数		14	10	20	**44**
診療所数		192	83	234	**509**
救急医療体制	救命救急センター	1	—	1	2
	救急告示医療機関	6	3	9	18
	休日急患診療所	1	1	2	4

［人口］平成30年4月1日現在(推計人口） ［病院数］平成30年4月現在
［診療所数］平成30年3月現在 ［救急医療体制］平成30年4月現在

現在の医師数は？

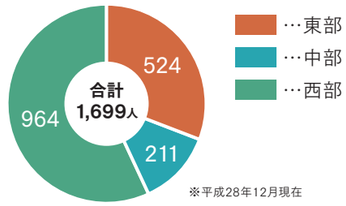
東部・中部・西部で医師数の偏在がある

全国的に見ると、人口10万人当たりの医師数は多く、全国6位と高い水準です。

しかし、地域によって偏りがあり、十分な人数とはいえません。西部には鳥大病院があるため人口10万人当たりの医師数は多く、中部とは2倍の差があります。

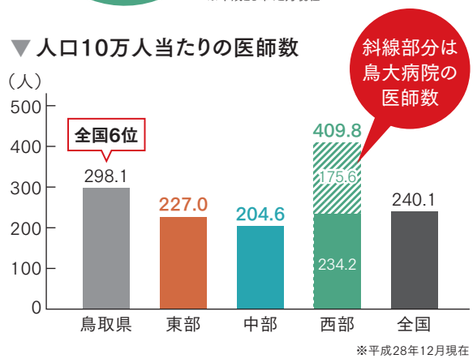
医師数の不足や地域偏在を補うために市部と郡部の連携、圏域内での病院間の連携、適切な役割分担を重要項目とし、積極的に行っています。

▼鳥取県の医師数



※平成28年12月現在

▼人口10万人当たりの医師数



※平成28年12月現在

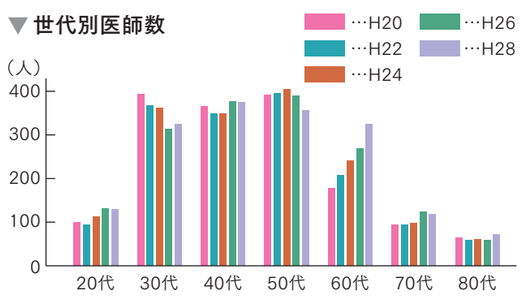
医師の平均年齢は？

60代の医師が増加し平均年齢は上昇傾向

30代の医師が減少傾向でしたが、平成28年は少し増加しました。

一方、60代の医師が増加しており平均年齢も高くなっています。ベテランの医師が増えることで、相談やキャリアビジョンの参考になり、自分の殻を破るきっかけをつかむことも可能です。

▼世代別医師数



医療状況の特長は？

中核病院を中心に二次保健医療圏で完結

一次保健医療圏は市町村単位で、かかりつけ医などの一番身近な医療区域です。一般的な病気やけがなどに対処し、住民の日常生活に関連した医療・保健・福祉サービスを提供します。

二次保健医療圏は、疾病の予防から入院治療まで（特殊な医療を除く）、地域住民の医療ニーズを広くカバーする医療区域です。生活圏内で完結し、他県に比べとても便利です。

▼バランスのよい二次保健医療圏
- 人口・面積に極端な差がない。
- 極端な僻地はほとんどない。

▼中核病院を中心とした二次保健医療圏
- 圏内で通常の医療は完結。
- 地区医師会、消防局が二次保健医療圏と一致。

▼市部への集約化が進展
- 中山間地の医療は主に町立の病院や診療所が担う。

▼地区ごとに各分野が連携
- 救急患者のたらいまわしはない。

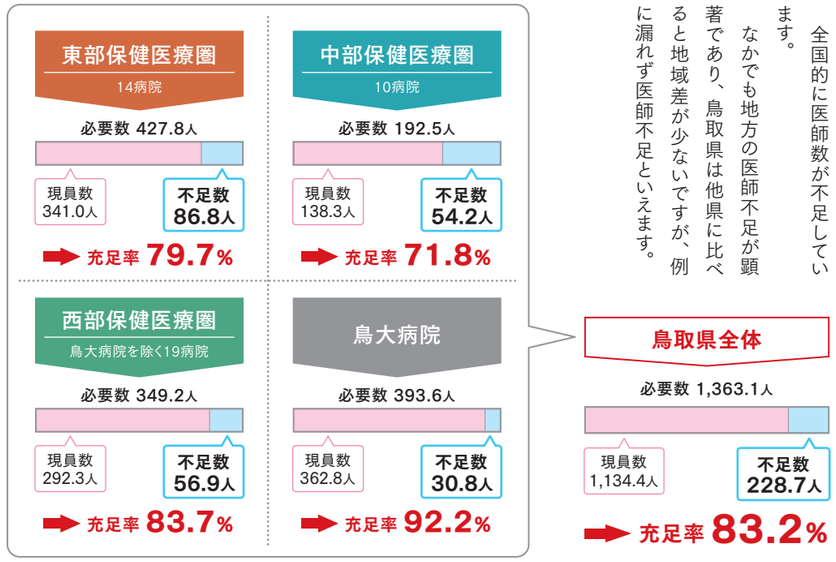
東部・中部・西部それぞれの
二次保健医療圏で基本的な医療は完結！

県内44病院の医師数は足りている？

充足率は約8割 県内全域で医師数は不足

全国的に医師数が不足しています。

なかでも地方の医師不足が顕著であり、鳥取県は他県に比べると地域差が少ないですが、例に漏れず医師不足といえます。



※平成30年現在 ［参考資料］平成30年1月1日現在「医師数に関する調査」（鳥取県地域医療支援センター調べ）（注1）必要数は、現行の診療体制を基本とした上で、それぞれの病院が平成30年4月1日に必要としている医師数。（注2）現員数は平成30年1月1日現在の医師数で、初期臨床研修医を除いている。

今年度からスタート！

新専門医研修制度をご紹介

専門医の認定基準が明確になり、研修制度が拡充されました

●専門医とは

「専門医」とは、それぞれの診療領域における適切な教育を受けて十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な医療を提供できる医師を指します。専門医になるには、専攻医となり、専門医研修を受ける必要があります。

●新専門医研修制度とは

研修制度の拡充を目的に制定され、2018（平成30）年4月から始まりました。旧制度では各学会にある専門医の認定基準が統一されておらず、技量にばらつきがあることが問題でした。そこで専門を明確にし、一定の技量を身に付けたことを証明できる制度に変更しました。この制度に登録・実践中の医師を「専攻医」といいます。

新専門医研修制度では、19の基本領域からいずれか1つの専門医資格を取得し、サブスペシャリティ領域でより深く学んでいきます。今まで漠然と「後期研修」と言われてきたものが「専門医研修」として明確になりました。

●専門研修プログラムとは

専門研修施設群が専門研修プログラムを作成し、専門医資格取得までの全過程を人的・物的に支援する仕組みです。研修は3年以上とし、領域ごとに期間が定められ、基本領域とサブスペシャリティ領域の連動研修が認められている領域もあります。専門研修プログラム選択の際には、プログラム責任者としっかり相談してください。

専門医を目指す皆さんへ

卒後臨床研修センター
専門教育研修部門
井岸（いぎし） 正（ただし） 先生

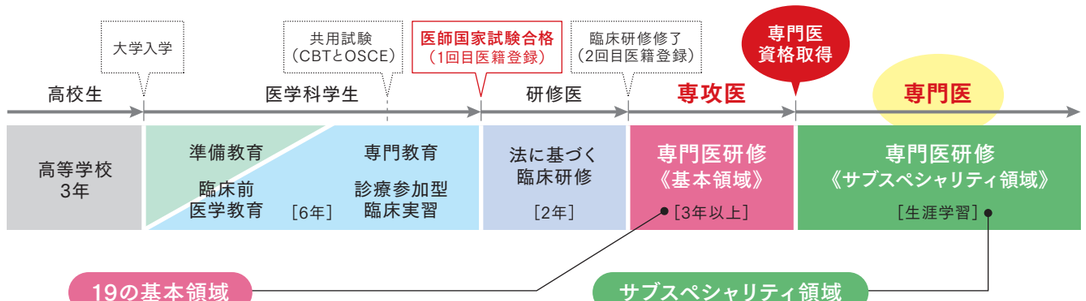
2018（平成30）年度から新しい専門医研修が始まりました。以前より専門医制度はありましたが、多くの学会の専門医が乱立し、分かりにくく、その質にもばらつきがあるといわれてきました。そこで日本専門医機構が中心となって統一したルールを作り、専門医の養成を行うようになったわけです。

新制度は、19基本領域の設定とサブスペシャリティの2段階制、プログラム制の導入、研修施設群の形成に特徴付けられます。「基本領域」とは大きな診療分野のことで、内科や外科などがこれに当たります。ここに新しく「総合診療」が位置付けられました。「サブスペシャリティ」とは基本領域の中の細かな専門分野で、基本領域専門医でなければサブスペシャリティ専門医にはなれません。「プログラム制による研修」とは、年次ごとの研修プログラムに沿って研修し、専門医を養成することを指します。また、基幹施設と連携施設という複数施設での研修が必須となりました。

初期臨床研修については導入されてからかなり時間がたっているので理解されていると思いますが、専門医研修についてはまだまだよく分からないことが多いかと思います。疑問や問い合わせがあれば気軽に、鳥取大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター 専門教育研修部門にご連絡ください。

ご相談・お問い合わせ先
卒後臨床研修センター
専門教育研修部門
■TEL 0859-38-7005
■FAX 0859-38-7006
■MAIL senmoni@ml.med.tottori-u.ac.jp

専門医になるまでの流れ



19の基本領域

内科、外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、形成外科、耳鼻咽喉科、放射線科、皮膚科、精神科、救急科、麻酔科、眼科、病理、臨床検査、リハビリテーション科、総合診療

サブスペシャリティ領域

- 内科系：消化器、循環器、呼吸器、神経、血液、腎臓、内分泌代謝、糖尿病、肝臓、アレルギー、感染症、老年病、リウマチ、がん薬物療法、消化器内視鏡
- 外科系：消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺、内分泌外科
- その他：小児循環器、小児神経、小児血液、周産期、婦人科腫瘍、生殖医療、手外科、脊椎脊髄外科、頭頸部がん、集中治療、放射線診断、放射線治療

専攻医募集の日程（予定）

一次登録［登録開始］**10月中旬**

▶詳しくはこちら
一般社団法人
日本専門医機構
http://www.japan-senmon-i.jp/

基幹施設について

鳥取県で専門医研修を受けられる基幹施設は2つあります。

- **鳥取大学医学部附属病院**
  … 形成外科、臨床検査以外の17領域
- **鳥取県立中央病院**
  … 整形外科、産婦人科の2領域

コース参考例（鳥大内科）

各自が目指す専門医像に合わせて、専門研修のスケジュールを組みます。
下記は、内科専門医研修プログラムの代表的なコース例。

例1 内科基本コース

1年目	鳥大病院［基幹施設］（各内科診療科および救急科にて研修）
2年目	連携施設
3年目	基幹施設あるいは連携施設
	週1回以上、外来※

例2 Subspecialty領域重点研修コース

1年目	鳥大病院［基幹施設］（各内科診療科および救急科にて研修）
2年目	連携施設
3年目	鳥大病院［基幹施設］（Subspecialty領域重点研修）
	週1回以上、外来※

例3 地域医療支援医コース

1年目	連携施設
2年目	特別連携施設あるいは連携施設（当該施設で外来も担当）
3年目	特別連携施設あるいは連携施設（当該施設で外来も担当）
4年目	鳥大病院［基幹施設］（内科および救急科にて研修）
	週1回以上、外来※

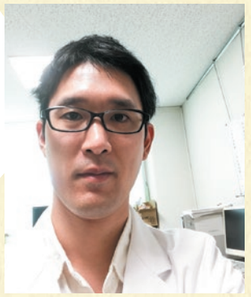
※6カ月以上、連携施設あるいは特別連携施設で外来を経験

若手医師REPORT

DOCトリ！のタマゴ

「これから“DOCトリ！”になるぞ」と頑張っている先輩たちに、これまでの歩みや現在の様子を聞いちゃいました！

じっくり向き合う診療にやりがいを感じて



鳥取大学医学部附属病院
精神科

有馬（ありま） 和志（かずし） 先生

1985年　鳥取県生まれ
2016年　鳥取大学医学部医学科卒業
2016年　同大学医学部附属病院
　　初期臨床研修医
2018年　同病院精神科専攻医

鳥取大学医学部附属病院の有馬和志です。2年間の初期臨床研修を修了し、2018（平成30）年4月より精神科で専門研修を始めました。

私が精神科を選択した理由は、医学生として臨床を勉強し始めた頃より、最もつかみどころがなくて不確定要素が多い分野であり、だからこそじっくりと考えながら診療をすることができそうだったから。また、自分がこれから開拓していける領域が多そうだと感じたということもあります。

実際の専門研修としては、主治医として担当患者を3～6人程度受け持ち、週に1回のカンファレンスと指導医との打ち合わせでそれぞれの患者さんの治療方針を決め、治療を進めるということをしています。大学病院であり難しい症例も多いですが、指導医も若手医師も多くいる環境であり、診断や治療の考え方などを周りにいらっしゃる先生方からできるだけたくさん学んで吸収しようと心がけています。

わたしの鳥取LIFE！

かわいい娘と過ごす時間が幸せ

研修医1年目に結婚し、2年目に娘が生まれました。平日帰宅後や休日は娘と遊ぶことがなにより楽しみで、リフレッシュになっています。写真は、西伯郡南部町にあるフラワーパーク「とっとり花回廊」へ遊びに行ったときのものです。

医師として大きく成長できる環境に感謝

鳥取県立中央病院
初期臨床研修2年目

近藤（こんどう） 紗矢（さや） 先生

1992年　鳥取県生まれ
2018年　鳥取大学医学部医学科卒業
2018年　鳥取県立中央病院
　　初期臨床研修医

私が鳥取県立中央病院を研修先に選んだ理由は、学生時代に病院を見学した際、指導熱心な先生方の存在や、当時の研修医の先生たちがお互いに仲間として励まし合って日々過ごされているのを見て、自分の力で頑張れないようなときでも周りに引き上げてもらえるような環境があるなと思ったことが大きいと思います。

日々の関わりの中で刺激をもらえたり励まし合ったりできる同期や先輩の力は大きく、今もたくさん助けられて毎日の研修に取り組めています。指導してくださる先生方からのフィードバックもしっかりあり、プレッシャーを感じつつもやりがいを持って一つ一つの手技や診察を行っています。

なかなか思いどおりにいかないことも多いのですが、初心を忘れず力を付けていきたいと思っています。

わたしの鳥取LIFE！

力を発揮するにはオフの時間も大切

休日はたまっていく掃除・洗濯などの家事をこなしていることが多いです……。
病院にいるときは無意識に緊張しているので、心身をほぐすようにゆったりとお風呂に浸かったり、休日の朝ゆっくり起きることが一番幸せな時間ですね。

1度は行くべし！

TOTTORI★イチオシ名鑑

Enjoy Tottori life!

地元の魅力を知り尽くす謎の編集部員「SR」が、観光地とグルメを毎号1カ所ずつご紹介します。せっかくの鳥取LIFE、楽しまなきゃ損ですよ！

遊 \@Western/

気分スッキリ！高原の爽快なロケーション

大山（だいせん）

標高1729m、中国地方最高峰の「大山」は、古来から“神仏宿る山”として崇められており、今年開山1300年を迎える歴史深い霊峰です。でもそれだけではなく、登山や紅葉、フルーツ狩り、乗馬、スキーといったお楽しみ満載なスポットでもあるんですよ。

春～秋シーズンは、大山西麓の「桝水高原」へ出かけてみてください。天空リフトに乗って標高900mの展望台までしばし空中散歩、たどり着いた先には米子市街地、中海と弓ヶ浜半島、遠く島根半島まで見渡せる絶景が待っています。高原の爽やかな風と視界いっぱいに広がるパノラマを楽しんでください。

大山町観光案内所
☎ 0859-52-2502　営 8：30～17：00　休 年中無休

桝水高原天空リフト
住 西伯郡伯耆町大内桝水高原　☎ 0859-52-2228
営 4～11月の9：00～17：00　休 無休 ※悪天候の場合運休あり
料 中学生以上700円、4歳～小学生600円、3歳以下無料
P あり（無料）　JR米子駅から車で約30分

食 \@Eastern/

かねまさ浜下商店（かろこう）
賀露港・市場食堂（いちばしょくどう）

海鮮丼 980円▶
（中付け・香物・汁物付き）

▼もさえび天丼 980円
（中付け・香物・汁物付き）

住 鳥取市賀露町西4丁目1803-2　☎ 0857-28-2391
営 10：30～15：00（LO14：30）、土日祝は10：00～16：00（LO15：00）
休 元旦及び年始に数日　P あり（無料）
JR鳥取駅から車で約15分、鳥取ICから車で約10分

刺身vs天ぷら！日本海の幸満載の激ウマ丼

県東部で日本海の幸を味わうなら、鳥取港のすぐそばにある「賀露港・市場食堂」へどうぞ。仲買人直営ならではの鮮度とボリューム、お手頃価格で大人気の海鮮料理店です。

オススメは2つの丼。一つは、甘エビ、ブリ、ハマチ、タイ、カツオ、ヒラマサなど6～7種もの刺身がてんこ盛りの「海鮮丼」。ネタが分厚く食べ応えたっぷり。そしてもう一つは、濃厚な旨みがたまらない「もさえび天丼」。モサエビは、鮮度劣化が早くめったに県外流通しない“幻のエビ”。つまり、地元だからこそ味わえるレアな丼なのです。さあ、アナタはどっちを食べる!?